

## ② 考え、対話する **道徳科** の事例

本時の  
ねらい

嵐の中ぐみの実を届けようとした小鳥の思いをぐみの木やりすの気持ちにも目を向けて考え、話し合う活動などを通して、温かい心で接することでお互いに気持ちがよくなることを理解し、優しい気持ちを持って人に接していこうとする心情を育てる。

### 学習活動



#### つかむ

1. 親切にされた経験を話し合う。
2. 学習課題を知る。



#### 考える・話し合う

3. 「ぐみの木と小とり」を読んで、小鳥の親切について、自分と重ねて考え、話し合う。  
○嵐を見ている時の、3人（小鳥、ぐみの木、りす）は、どんなことを考えていたのでしょうか。

◎りすの言葉を聞いて小鳥は、どんなことを思ったでしょう。



4. 自分の生活を考える。  
○小鳥と自分を比べて振り返り、これから、どんな親切をしたいと思ったか、手紙を書きましょう。



#### 見つめる・振り返る

5. クラスのみんなの相手を思う優しい姿について知る。
6. 今日の学習の振り返りをする。

### 予想される児童の意識

- ・運動場で転んだ時、保健室まで連れて行ってきてうれしかった。
- ・重たい荷物を一緒に運んでくれたのでうれしかった。

学習課題 親切にされたとき、親切をしたときの気持ちを考えよう。

〔小鳥〕

- ・りすは、どうしているかな。
- ・りすは、ぼくのことを待っているだろうな。
- ・りすにぐみの実を持って行って元気づけてあげよう。
- ・りすの様子を見て、心配しているぐみの木に教えてあげよう。
- ・りすにぐみの実を届けて、元気づけてあげたい。

〔ぐみの木〕

- ・りすを心配しているけど自分では行けないよ。
- ・ひどい嵐だから、行けないよ。

〔りす〕

- ・一人でさびしいな。
- ・こんなひどい嵐でぐみの木さんたおれていないかな。

≪小鳥≫

- ・無事にぐみの実を届けることができ、よかった。
- ・風が強かったけど、行ってよかった。
- ・りすのところへ行って、ぐみの木も喜んでいだろう。
- ・病気を治して早く元気になってね。

≪りす≫

- ・わざわざ自分のために来てくれて、ありがとう。
- ・うれしかったよ。

- ・小鳥さんはとっても優しいなって思ったよ。ぼくも友だちがうれしい気持ちになるように、優しくしたいな。
- ・友だちが大変なことにあっているときをみつけたら助けたいな。
- ・おかずをこぼしたときに一緒にふいてあげたよ。これからも友達がよろこんでくれるように優しくしたいな。
- ・家の人が少しでも楽になるから、お手つだいをしたい。

親切は、してもされても気持ちいい。

- ・わたしたちのクラスにもりすさんや小鳥さんのような人がいっぱいいるね。

**評価の視点**

- 相手の身になって考え、親切にすることの大切さやよさについて自分との関わりで深く考えようとしているか。
- 親切について話し合うことを通して、親切について多面的に考えられたか。

## 教師の支援 □評価

- 親切にされた経験<sup>①</sup>を話し、本時に取り上げる道徳的価値に興味をもつようにする。
  - 教材の内容が捉えやすいように教材提示は、ICT機器を活用して行い、読み聞かせを工夫する。
  - 嵐の効果音を聴かせて、嵐の様子を感じられるようにする。
  - 3人の気持ちが書けるワークシート<sup>②</sup>を準備し、嵐の前に迷ったのは小鳥だけではないことに気付くようにする。それぞれに、相手のことを思い浮かべて考える温かい関係を味わわせるようにする。
  - 親切にする側とされる側の思いが考えられるように、小鳥とりす、ぐみの木の役割演技<sup>③</sup>をする。モデルが行った後、全員がペアになって、小鳥とりすの役割演技をする。小鳥とりすの役を交代して、全員に小鳥の気持ちを考えられるようにする。
  - 役割演技をした後、そのときの気持ちや思いについて、切り返したり、発問したりして話し合わせることで多様な考えに気付けるようにする。
  - 小鳥が、どうしてりすへぐみの実を持って行ってあげようとしたかを考えることで、りすを心配しているぐみの木の気持ちまで推し量れるようにする。
  - 親切な行いが、相手にとっても自分にとっても喜びにつながることを感じとれるようにする。
- 親切にする側とされる側の思いを自分に重ねて考えようとしているか。(児童観察・発言・活動)



思考の足跡を構造化した板書の工夫

- 親切について話し合うことを通して、親切について多面的に考えられたか。  
(ワークシート・児童観察・活動)
- 最近の子どもたちの様子から、思いやりのある行動や場面をか紹介する。(生活科「1年生との交流会」での姿を写真で提示)
  - 人に親切にできることは素晴らしいことだと感じられるようにし、自分たちの今後の生活で親切にしようとする気持ちを高める。
  - 振り返りを書く前に視点を示す。

### 【事前・事後の指導】

- 帰りの会で、「今日のキラリさん」(その日頑張っていた友だちとその理由)を当番から発表させ、その後、教師が見つけたキラリさんも紹介する。その際、相手のことを思う温かい心からの行為であることを紹介する。

## 授業改善のヒント



### 経験の想起

親切にしたりされた経験などを記入したカードを紹介し、ねらいとする道徳的価値に興味をもつようにする。



### 読み聞かせの工夫

電子紙芝居で教材文を読み聞かせ。効果音を聴かせるなど、イメージをつかめるようにする。

### ワークシートの工夫

自分の考えを持てるようにするためにワークシートに記入させる。一番気になる登場人物の気持ちから先に書くよう声をかけ、いろいろな立場で考えられる手立てとする。



役割演技により、登場人物に自分を重ねて考えることができる。演じるだけに終わらず、演じた後の振り返りを充実させたり、役割演技を見ている人も感じたことを意見交流をしたりする。また、場面によっては、それぞれの立場で考えられるように、役割交代を行ったりすることも有効である。

### 役割演技の工夫



### 対話的な 学びのポイント

話し合いの状況を見て、発表された意見について自分の考えを賛成、反対とハンドサインを活用することも有効な手段である。児童の考えを把握し、多様な意見を確認できる。ハンドサインにより発言をつないだり、自他の意見を比較したりし、価値理解や他者理解を深めたりすることができる。



### 話し合いのルール



### 同じ内容項目の指導

「ぐみの木と小鳥」の話では、相手に会えることで感謝の気持ちを直接受け取ることができたが、同じ内容項目を扱った「まいごのずず」の学習では、自分たちの行いが直接的には相手に伝わらない親切について考え、どんな場面においても相手を通して行動することが非常に大切であることを学べるようにした。同じ内容項目の教材で指導すべき内容を整理しておく必要がある。

### 深い 学びのポイント

学習課題を確認した上で、振り返りの視点を示し、焦点化した記述につなぐ。視点をワークシートに書いておいたり、黒板に提示したりして、意図的に示す。



### 振り返りの明確化

① 誰の学びがよくなったか  
② これまでの自分まわりを振り返り、考えられた  
③ あらゆる学びを振り返り、自分の考えをまとめられた  
④ これからの自分は、どんな行いかを考えたか